

「日野市まちづくりマスタープラン」の概要

1. 「日野市まちづくりマスタープラン」とは

平成 15 年に策定された「日野市まちづくりマスタープラン」は、都市計画に関する基本的な方針を定めたものです。

5 年や 10 年では変わらない、日野のまちづくりの基本理念と将来像を描いた「日野のグランドデザイン」、グランドデザインを実現するための土地・建物利用のルールや整備方針を定めた「都市計画マスタープラン」から構成されています。

策定から 10 年余りが経過し、社会情勢やまちの姿が変化するとともに、地域における課題も変わってきたため、現行の「日野市まちづくりマスタープラン」を生かした、新たなまちづくりマスタープランを策定します。

2. 「日野市まちづくりマスタープラン」の策定経緯

「日野市まちづくりマスタープラン」は、市民の皆さんと協働によるまちづくりを進めていくための指針となるよう、多くの市民参画を経て策定されました。

まず、自由公募で集まった 8 地域 86 名による「地域まちづくり広場」を開催し、まち歩きを通して良いところと問題となっているところを発見しながら、どのようにまちを変えていけばよいのか全員で考えました。地域の要請をきめ細かに反映した地域別の提案を踏まえ、市民と有志職員、学識経験者から構成される「市民まちづくり会議」で、日野市全体のまちづくり計画案としてとりまとめ、市長に提案しました。

その後、都市計画審議会への諮問・答申を経て、「日野市まちづくりマスタープラン」が完成しました。

3. 「日野市まちづくりマスタープラン」の特徴

- ・「まちをどのように作るか」ではなく、日野市に暮らす人々が「どのように暮らせるのか」という視点で策定しました。
- ・まちづくり基本計画（分野別計画）では、目指す状態を実現するために考え得る様々な手段を位置づけました。そのため、都市計画事業の予算化の指針としてだけでなく、事業を検討する際の手がかりやメニューとしても活用されています。
- ・地域別構想では、まち歩きを通して発見したことを記載するとともに、資源の活用や地域課題の解決に向けて地域住民の目線によるアイデアが反映されています。